

桜門ドイツ文学会だより

[2022年度の主な活動]

2022.03.12 理事会・総会（Zoomによるオンライン形式）
（理事会：午後2時30分～午後4時10分，総会：午後4時30分～
午後5時15分，出席者：理事会14名，総会24名）

【報告】

1. 2021年度活動報告
2. その他

【審議】

1. 2021年度会計報告（決算報告と次年度予算案）の承認
2. 2022年度担当ブロックと会長，理事長の承認
3. 2022年度理事会の日時と場所について
4. 2022年度第24回研究発表会について
5. 2022年度『リュンコイス』第56号の編集・発刊について
6. その他

2022.06.11 第1回理事会（Zoomによるオンライン形式）
（午後3時30分～午後5時30分，出席者：13名）

【審議】

1. 2021年度理事会・総会議事録の承認
2. 2022年度各ブロック理事の承認：真道杉・板倉歌・岡本奈穂子・
○山崎明日香・藁科智恵・柳武司（広報委員会委員長）・渡邊徳明・
杉田芳樹（庶務委員会委員長）・三浦美紀子・柳泉の諸氏
[○は理事長]
3. 2022年度第24回研究発表会について
4. 『リュンコイス』第56号の編集・発刊について
5. 2022年度理事会・総会（懇親会）について
6. その他

2022.09.09 臨時理事会（ハイブリッド形式）

（午後 1 時 00 分～午後 2 時 30 分，出席者：対面 8 名，Zoom 4 名）

【審議】

1. 2022 年度第 1 回理事会報告書の追記について
2. 2022 年度総会・理事会（懇親会）について
3. 翻訳依頼について
4. 会員の退会について
5. 新入会員および会員数増加について
6. その他

2022.09.09 第 24 回研究発表会（ハイブリッド形式）

（午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分，発表者：3 名，出席者：対面 11 名，Zoom 9 名）

【司会】山崎明日香

【開会の辞】保坂靖人

【発表題目】

- ① ピクチャーカードを導入した再履修クラスのドイツ語会話授業
——落単の落胆から，楽しみへの転換——

山崎明日香

- ② 中世以来の「不気味なもの」の伝統
——「物化＝脱精神化」の恐怖——

渡邊徳明

- ③ ドレスデンにおける難民のドイツ語習得と社会統合の課題
——ボランティアドイツ語講師へのアンケート分析から——

岡本奈穂子

【閉会の辞】豊田順一

2022.12.10 『リュンコイス』第 56 号第 1 回編集会議

（Zoom によるオンライン形式）（午後 1 時～午後 2 時 30 分）

2023.02.18 『リュンコイス』第 56 号最終編集会議

（Zoom によるオンライン形式）（午後 1 時～午後 2 時 30 分）

[会員の活躍情報]

秋元康隆：『いまを生きるカント倫理学』（集英社，2022年）

真道杉：2022年11月27日に「EU文芸フェスティバル」の催しでアイヒンガーのパネル展示 *Es begaun mit Ilse Aichinger 1921-2021 — Erzählen vom Ende her und auf das Endehin —* 「それはイルゼ・アイヒンガーから始まった1921-2021 — 終末から終末に向かって語る」のプレゼンテーション，および，2022年11月30日にオーストリア文化フォーラムで，その関連のパネル展示と映画上映会。

同展は2023年3月1日から31日まで奈良県立図書情報館にて公開。

[ご寄付について]

2022年度に，野澤密孝様より当会に寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

[訃報]

桜門ドイツ文学会の発展にご尽力いただいた江栄海先生が2018年7月に，そして，柳沢秀男先生が2021年4月にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

（文責 山崎明日香）